

レジメン名 (治療名)					
TCB 療法					
癌腫	レジメン (略語)	実施区分	抗がん剤適応区分		
子宮頸癌	TCB 療法	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法	<input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> 局所化学療法 <input type="checkbox"/> その他	
投与順	抗がん剤名 (商品名・略称)	1日投与量	投与経路	投与時間	投与日 (day1、8等)
1	ベバシズマブ【BEV】	15mg/kg	点滴静注	初回 90分 2回目 60分 3回目以降 30分	Day1
2	パクリタキセル【PTX】	175mg/m ²	点滴静注	3時間	Day1
3	カルボプラチン【CBDCA】	AUC=5	点滴静注	30分	Day1
1コースの期間 (次コースまでの標準期間)		3週間ごと			
総コース数及び総投与量の限界		TCBとして6コース。 以降はBEV維持療法。PDまたは、許容できない副作用が出現するまで			
プレメディケーション ポストメディケーション		デキサメタゾン、5HT3拮抗薬、H1/2拮抗薬 アプレピタント			
備考		<ul style="list-style-type: none"> ・CBDCAアレルギーが出現した場合は、PTX単剤へ変更。その際には軽度催吐性のため、アプレピタントの処方なし。 ・CBDCAの投与量は主治医の判断でAUC=6まで増量可能。 			

《投与順》

2～6コース (最大6コースまで)

- | | | |
|--------------------------|----------------------|-----|
| (1) 生理食塩液 | 100mL | |
| ファモチジン 20mg | 1A | |
| クロルフェニラミン 5mg | 1A | |
| オンダンセトロン 4mg | 1A | |
| デキサメタゾン 8mg | 3V | 30分 |
| (2) 生理食塩液 | 100mL | |
| ベバシズマブ | 15mg/kg | 90分 |
| *2回目 60分、3回目以降 30分まで短縮可能 | | |
| (3) 生理食塩液 | 500mL | |
| パクリタキセル | 175mg/m ² | 3時間 |
| (4) 5%ブドウ糖液 | 250mL | |
| カルボプラチン | AUC=5 | 30分 |
| (5) 生理食塩液 | 50mL | 5分 |

内服制吐剤	アプレピタントカプセル 125mg	1Cap 分 1	1 日分
	アプレピタントカプセル 80mg	1Cap 分 1	2 日分

7 コース目以降

(1)	生理食塩液	50mL	5 分
(2)	生理食塩液	100mL	
	ベバシズマブ	15mg/kg	30 分
(3)	生理食塩液	50mL	5 分

* 卵巣がん術後 4 週間経過していない場合は、TC 療法に基づいた以下のレジメンで 1 コース投与。
2 コース目からアバスチンを含むレジメンを行う。

(1)	生理食塩液	50mL	
	ファモチジン 20mg	1A	
	デキサメタゾン 8mg	3V	15 分
(2)	生理食塩液	100mL	
	クロルフェニラミン 5mg	1A	
	オンダンセトロン 4mg	1A	30 分
(3)	生理食塩液	500mL	
	パクリタキセル	175mg/m ²	3 時間
(4)	5%ブドウ糖液	250mL	
	カルボプラチン	AUC=5	1 時間
(5)	生理食塩液	50mL	5 分